

# 転教

てんぎょう

2018 9 Sept

平成 30 年 9 月 1 日発行  
第 19 卷第 9 号 通算 223 号  
編集兼発行人 山本 久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021  
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11  
☎ 03-5319-3490  
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

## ご祈願について

水谷随歎

開導聖人のご教歌に、

「願ふことなしと思へば怠りぬ

ありとおもへばすゝむ信行」

とあります。ご祈願をするとしな  
いでは、信心の力の入れ方に差がつ  
いてきます。ご祈願を身近なもの

感じないと努力が不足し、口先だけ

の言上になりかねませんので注意

しましょう。まずは、身近な祈願か

ら始め、月々に更新して積み重ね、  
信心の向上を計ることが大事です。  
また、ご祈願をかけっぱなしにして

忘れてしまうようでは、信心を奮い立たせることができません。信者同士、また家族内で、互いに声をかけ合うなど工夫を凝らしましょう。

子供たちに祈願カードを書いてもらう努力を何年も根気よくつづけたことによるのでしょう、最近では息子が自ら親の健康や自分の勤務成就を祈願するようになった家族もあります。祈願を習慣づけて、やがて子供達が自分にとって大事な事だと気が付くと、信心に熱が入り増進します。ところが、気が入らないとだらけてしまいます。信心増進のためには、祈願について深く考えることです。形式的にならないよ

う、必ず成し遂げるといふ熱意を持つことが大事です。

とかく人間というものは、平穩無事な生活が続くと気が弛みがちなものです。人としての生き方を考え、将来の目標などを立て、愈りの魔の手に取り込まれないようにしましょう。

御利益感得の経験がある信者でさえも、願う心を忘れてしまうと、信心が低迷することがあります。「いざと言う時には、やります」といふような常に御法様に向かいあつていない信心では、いざという時になつたら力を頂けないことに気がつくと思います。信心は日頃の

積み重ねです。

ご祈願は、自分中心の願いから他人の幸せを願う祈願へと信心の向上を計ることが肝心です。それが菩薩心です。

人にご祈願を勧める場合は、その人に合ったものを勧めましょう。普段、祈願を立てない方には、まずは自分の祈願、それから家族の健康などの祈願を勧める。それが定着してきたら、教区の方を応援する祈願など立てるよう勧め、信心の向上にとめましょう。ご祈願を立てられるようになったら今度はその祈願に向けて、お題目口唱に力を入れるよう勧めます。口唱が出来るようになる

ると、迷う心を抑えられ、信心が向上します。すると、困難と考えていたご祈願に熱中出来るようになり、願いが叶います。

仕事に関しても、能率をあげようとする、目標を立て達成方法を考えます。祈願も同様、漫然と願うだけでなく目標に向かって達成方法を考えて実行し、口唱に励むことです。すると、御利益を体験できるのです。そこで、さらに進んだ祈願を立てましょう。一步一步の積み重ねが肝要です。ご祈願も信心もこれが良いということはありません。より高い目標を立て、向上してゆきましよう。

# 9月のご奉公のすすめ

## 本年度のテーマ・参詣将引

日蓮聖人のご生涯は大難四ヶ度小難数を知らずのご弘通ご奉公でした。その中でも9月は最大の御法難と言われる竜の口法難です。どんな時でも日蓮聖人は「法華経の行者は必ず現証利益をいただける」という強い信念をお持ちでした。私たちも及ばずながら家庭内班内でのどんな将引ご奉公も強い信念をもつてさせて頂きましょう。

## 今月の随喜轉教

忙しい日常生活の中でも、家

族班内の心配事や悩みを親身になって考え、「なぜ信心をするか」のQ&Aを参考にして、信心の喜びを伝えましょう。是非とも月始めには教化誓願を立て御宝前のお力を頂きましょう。

九月は防災の月 地震などの災害は突然にやってくるものです。その時にあわてないように、教区でもしっかり話し合い、まづ御戒壇が固定できているか確認しあいましょう。また日頃から避難場所の確認や防災用具・非常食、飲料水などの備蓄の事

## 9月の寺内行事予定表

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 1日～7日  | 開講本旨再興祈願<br>朝参詣週間         |
| 1日(土)  | 開講本旨再興祈願総講<br>午前10時半      |
| 2日(日)  | 竜の口御法難記念五時<br>間口唱会 午前10時半 |
| 8日(土)  | 連合幹事会<br>午前9時半            |
| 13日(木) | 高祖大士御命日総講<br>午前10時半       |

を家族でも話し合っておきま  
しょう。

**来月のご奉公のポイント**

**一、高祖会**

秋のお会式高祖会は、10月14  
日(日)に厳修されます。

日蓮聖人は何度も大難にあい  
法華経の真実を証明なされ、真  
の現世安穩・後生善処の教えを  
命がけて伝えて下さいました。  
末法の衆生の救いは他にはあり  
ません。日蓮聖人のご恩に報い  
家族皆が願主となってお会式参  
詣をすすめあい共連れ参詣させ  
て頂きましょう。

9月24日(月)までに、奉修

費・お花料・御供米は寺務所に  
納め、参詣人数は受持ち講師に  
報告してください。

第一座 10時 第二地区(全連

合) 第三地区(杉並連合、

豊島連合) 特別教区

第二座 11時半 第一地区(全

連合) 第三地区(西部連合)

聞信寺、聞泉寺

**二、赤い羽根共同募金**

妙應寺では、毎年10月に恵ま  
れない子供達のために、社会福  
祉活動として赤い羽根共同募金  
に協力させて頂いています。皆  
さんの暖かいご理解とご協力を  
お願いします。

午前10時半

17日(月) 開導聖人御命日総講

午前10時半

20日～26日 秋季彼岸朝参詣週

間

23日(日) 秋季彼岸総回向法要

(妙應寺) 午前10時

// 同(六角堂)

午後12時半

25日(火) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

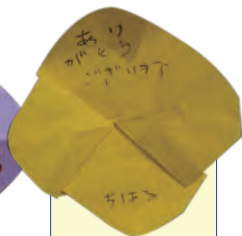
// 正副教区長会

午後12時半

一地区…2階ホール

二地区…1階ホール

三地区…和室



# 一ヶ月間、夏期参詣 ありがとうございました

7月1日から  
31日間行われた  
夏期参詣。今年  
も無事に終わ  
りました。

仕事の関係で、  
7時の開門と同  
時にお参詣をし  
て、30分間の御  
看経を毎日続け  
られた方、杖を  
突きながらお参  
詣に来られた高



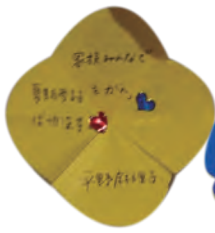
齢者の方。電車で2時間以上も  
かかる距離を通われた100歳を超  
えた方。また、御供養配りのご  
奉公、日曜日のおうどんお給仕  
のご奉公、など、みなさんが御  
祈願をかけて頑張り抜きまし  
た。

最終日の7月31日には、ご法

## 平成30年7月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願  
朝参詣週間
- 1日～31日 夏期参詣開始
- 1日(日) 開講本旨再興祈願総講  
を午前10時半より奉修
- 5日(木) 夏季総回向 御回向・  
御塔婆申込締切
- 7日(土) 運営会議を午前9時半  
から開催
- 13日(金) 高祖大士御命日総講を  
午前10時半より奉修
- 14日(土) 連合幹事会を午前9時  
半から開催
- // 後続者育成連絡会を午  
前10時半から開催





門前に、山本局長から「ちよつと前まで80歳で現役バリバリという方がいらして感激しております。しかし、今は90歳でも頑張っています。皆さんもお寺参詣を励みに一層のご奉公をお願いいたします」と挨拶がありました。さて、今年の

夏期参詣に際しては、皆さんに朝顔の花を千代紙で折って、「私のよるこび」を添えて頂きました。1階ロビーや本堂入り口はご覧のように花盛りに。また、各特別教区にも同じように親会場を飾ってもらいました。水戸教区でもたくさん朝顔が咲きました。



17日(火) 開導聖人御命日総講を  
午前10時半より奉修

22日(日) 夏季総回向法要を午前  
10時より奉修

25日(水) 門祖聖人御命日総講を  
午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後12  
時半から開催

29日(日) 開講本旨再興祈願口唱  
会を午前9時半より奉修

31日(火) 夏期参詣終了(御礼御  
看経)

// 夏期供養奉納締切

**事教院六角堂行事**

22日(日) 夏季総回向を12時半より奉修

# 本堂改修が終わりました

懸案の本堂の改修工事が予定通り、7月末に終わりました。これにより、建物の耐用年数が伸びて、更にかちんと手入れを続ければ、70年は使える私たちが

の本堂です。

工事期間中は、皆さんの無事完了の御祈願もあり、事故もなく改修工事を終えることが出来ました。

さて、本堂右手の通  
用門もきれいになりま

## 夏季総回向への準備

今年も夏季総回向が、駒込本堂と六角堂で奉修されました。

皆さんにはご回向の為のお塔婆申込書を7月5日までに提出していただきました。次ページ

した。この部分はこれまでどんな材質で作られていたか覚えてますか？ 素敵な木の香りが皆さんをお迎えします。



の写真のように、教務さんが一  
本ずつ丁寧に書いて下さいまし  
た。

出来上がったお塔婆は、本堂、  
六角堂で奉呈されました。

7月  
22







昨年、飯田市に新しく親会場を開設された長野教区の山田高志さん宅へ御導師が御助行下さいました。長野県内での弘通の拠点として一層ご奉公にはげんでいただきたいと激励されました。

その際に、4名の男性信徒がお供させて頂きました。長野県飯田市の山田さん宅までは往復

540キロと遠方ですが、山田さんと95歳のお母様（美津子さん）にお会い出来、とても元気なお二人との楽しい会話で疲れも吹っ飛びました。

今後の主要予定は、9月30日④に静岡聞信寺との交流助行、12月23日④に初の男性信徒御講を予定しています。皆様の御参詣をよろしくお願い致します。

## 御導師お助行にお供をした男性信徒



ホールでのお塔婆書きの教務さん



書きあがったお塔婆は本堂に仮置



当日までに、各自で霊堂に奉呈します

## 外部向け掲示板を設置しました

駐車場シャッターの横に、外部向けの掲示板を設置しました。これは近隣の方々へ、私たちがどのような宗教活動とともなっているかの広報活動とともに、「寂光の道しるべ」の中から、一般の方にも分かり易い一文を掲載いたします。

また、詳しいことはホームページを参照していただくよう



にお伝えします。更には、お寺の入り口は開放されおり、自由なお参詣も歓迎します。

これにより、近隣の方が入って来られたときは、温かい心で

## 高祖会に向けて本堂クリーンアップ

今月のご奉公のすすめに記載がありますように、10月14日(日)に高祖会が奉修されます。

それに先立ち、改修も終わつた私たちの本堂をきれいに保つために大掃除を行います。毎日当番連合を決めて、内外のお掃除をしております

お迎えしていただくように心がけて下さい。

大和郷では各種文化活動を行っております。私たちの文化サロンとの交流もできないか、掲示板を見た人への提案、情報提供も行っております。

が、高いところや、細かいところまで手がなかなか届かないものです。

実施日の10月6日には、ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。





## 年齢に負けないご奉公 佐藤志昇師

班員さんは一軒だけですが、長年に亘り班長のご奉公をされている96歳の方がいらっしやいます。その班員さんの所にお助行に行った時の話ですが、96歳の班長さんのご奉公はどうですかと聞いたところ「とても良くてくれます。月に一度、轉教や御講附を頂きに行くと、必ずお会式やお寺行事に将引してください。片目が不自由なのに頑張ってお寺参詣される姿に頭が下がる思いです」と、はなされておりました。

班長さんの将引のおかげもあつて、その班員さんは娘さん、妹さんと三人で先月の開導会にお参詣をされておりました。

96歳という年齢を考えれば、とても大変なことだと思つていますが、その方は、近所に住んで自分よりも年は若いのですが、病氣であまり外に出られない御信者さんの所にも様子をうかがいにお助行に行かれるそうです。

お寺参詣は、わが身の罪障消滅、功德を積む元となり、参詣将引は菩薩行、人助けのご奉公

になるのですから、互いにお寺参詣、御講参詣をすすめ励ましあうことが大切であり、それが御利益感得の第一歩となることを心得て下さい。

そしてご信者お互いの参詣将引が御弘通発展、開講本旨再興へとつながって行くのです。

### 御教歌

講中を たがひにす、め  
はげまして

御恩報じの 奉公をせよ



# 主人のご利益感得

中里教区 Nさん

主人は、一昨年の七月七日より梶原診療所で「禁煙外来」を始めました。動機は煙草が中々止められないので、先生のお力をかりればうまくいくのではないかと考えたようです。

治療は最初の一週間毎日葉のみ、その後二日おきに減りました。一週間に一回、本当にやめているかを見るため血液でニコチン検査をします。のんではないので数値がどんどん下がります、一か月一回の検査が3か月位続き、九月二十七日に「卒煙

証書」をいただき、その後は先生から「今後は貴方次第の努力です。これが本当の喫煙スタートです」といわれたそうです。

私も肺腺ガンの疑いがありましたが、その後の検査で「影が消えている、継続して検査は続けましょう」と医師に言われました。安堵しました。これも一重に信心のお陰と思っております。

これからも二人で健康に気を付けて信心を続けてまいります。

**御導師のお総講時のご法門を、インターネットで聴聞することができます**

8月1日のご法門から、インターネットでも聴聞できます。パソコン、スマホで左記のアドレスにアクセスしてください。詳しくは、文化サロン・スマホ教室で講習予定です。



<http://myooji.com> > 日常信行 > ご法門

■私のよろこび

## 御懺悔さんげで頂いたご利益

所沢教区 Iさん

より元気になったように見え  
ました。

「八王子の墓に父母が入っている事。二人の娘の嫁入り先でのことで、今までの様に私たちの面倒は見られない。それでご信心も出来ないという事。また、老々介護の私たちの身の上も今後不安で一杯という事」

五月の甲御講席で、私が悩んでいることをお話しました。その日御導師が我が家にお助行下さいました。そして一言、「お懺悔しなさい」とお折伏下さりつづけて、「信の一字無心でお

題目を唱え、今生で無理なら来世では大丈夫と願うことです」

この御導師のお言葉で、先程までの不安がスーッと消え、お助行下さったご信者の皆様も私の明るくなった顔を見て喜んで下さいました。信者仲間がいるから大丈夫と励まされ肩の荷がおり嬉しくなりました。

後日お寺参詣し、御導師にお懺悔言上して頂きました。ますますスッキリしました。家内もお寺で皆様とお会い出来て、私

それからしばらくして、お講師と所沢教区の皆様がお助行下さいました。その時、お講師から日記をつけなさいとご指導頂きました。それから朝夕のお看経もしつかり上がりすべてが良くなってきました。

御懺悔させて頂き心の持ちようでこんなに元気になるなんて思いもありませんでした。

娘たちの信行相続を願い、お題目一筋、お寺、御講参詣その他、ご信心ご奉公に努めます。すべて御法様にお任せです。



## 根気よく声をかける

目黒教区 Nさん

本日は、目黒世田谷連合世田

谷教区のKさん宅で、後続者育成助行を開催させて頂きました。いつも参加されるかながわ連合が前助行と重なりましたが、十三名の参加者がありました。うれしいことにKさんのお孫さんが前日からK家に泊まって参加してくれました。若い人が時間を作って後続者育成助行に参加して下さったことに、皆がとても喜びました。

Kさんは、日頃から義侠心が強く、弱いものに根気強く手を差

し伸べるのです。

お孫さんの中でも彼は、小さい時アレルギー体質でつらいことが多かったこともあり、ハンディのある可愛い孫に根気よく声をかけ続け、今のおぼあちゃんとお孫の協力関係が出来上がったと想像されます。またその孫の友達があちらこちらから東京に遊びに来れば、みんな引き受け泊めてあげ、朝ごはんを食べさせて帰すそうです。友達もみな喜んでまた来るといつて帰っていくそうです。

そんな彼が信仰の集まりに参加するようになったのは、Kさんが自宅の甲御講にお参りするよう、根気よく声をかけ御導師に合わせたのが始まりでした。御導師もゆつくり彼に向き合って話を聞いて下さり、メールのやり取りもできるようになり、自宅の甲御講には必ず参詣するようになりました。成人式にも出席しました。

またKさんは、ご近所の生活が大変な方々の面倒をよく見ています。自分も忙しい中、仕事を世話し、お寺やお講に誘い根気よく声をかけるのです。育成ご奉公の一端を見せて頂いたお助行でした。

# ★こどもたちの会★

## 「なぜ信心をあるかの理由③」

 <p>⑥ 元気にサッカーをしていっただって!</p>	<p>それはいつもお譲り頂く為なんだよ。</p>	<p>① おばあちゃん、朝も夕方もお着経するのはどうして?</p>
<p>男の子が飛び出て来たから、ご信者さんの運転のせいにはならなかったんだよ。</p>	<p>⑦ それは男の子も、ご信者さんも良かったね!</p>	<p>② そうだよ! 前に男の子を、車ではねちったご信者さんがいてね…。</p> <p>いつもお譲り頂くため~?</p>
<p>⑧ たしかに良かったけれど、毎日の暮らしの中では何が起きるか分からないよね。</p>	<p>⑨ たしかにそうだね。</p>	 <p>③ 男の子が赤信号を無視して飛び出して来てしまった!</p>
<p>④ 毎日無事で過ごせる事は当たり前ではないんだよ。</p>	<p>⑤ 10メートルもはね飛ばしてしまったんだよ。</p>	<p>④ え~!!? 10メートルも?!</p>
<p>⑩ そう! だから朝夕のお着経は欠かせないんだよ!</p>	<p>⑥ それがお題目を唱えて、ありがとうございますって言うんだね!</p>	 <p>⑤ それかその子は、たった3日で病院を退院して!</p>

